

第48回関東実業団対抗テニストーナメント 結果報告書

2009.8.8

栃木県庁  
監督：阿久津定之

1. 大会概要
- ・日程 平成21年7月18日(土)～19日(日)
  - ・会場 栃木県総合運動公園テニスコート
  - ・主催 関東テニス協会
  - ・主管 栃木県テニス協会
  - ・後援 朝日新聞社・下野新聞社
  - ・協賛 プリジストンスポーツ株式会社
  - ・協力 ホテルニューイタヤ
2. 試合方法
- ・男子16チームによるトーナメントにより順位を決定する。
  - ・コンソレーションにより順位を決定する。
  - ・複2試合及び単1試合による対抗戦。ただし、重複出場は出来ない。
  - ・試合順序はD2 D1 Sの順番。
  - ・8ゲームズプロセットマッチ、ノーアドバンテージスコアリング方式。
3. 出場選手
1. 阿久津定之
  2. 鈴木秀男
  3. 法師人行雄
  4. 小林裕幸
  5. 金子隆行

4. 試合結果

1回戦 対 リコー(東京2位)：7月18日(土)

	栃木県庁	- 1	リコー
D2	鈴木秀男 小林裕幸	4 - 8	前田瑞晴 長野大樹
D1	金子隆行 法師人行雄	8 - 5	塩沢正樹 前田博之
S	阿久津定之	8 - 1	稲葉章朗

2回戦 対 NTT東日本(千葉2位)：7月18日(土)

	栃木県庁	1 -	NTT東日本
D2	鈴木秀男 小林裕幸	8 - 6	熊切一彦 船越厚至
D1	金子隆行 法師人行雄	1 - 8	山下大介 横山 稔
S	阿久津定之	6 - 8	斉藤辰典

フィードインコンソレーション2回戦 対 足利銀行(栃木2位) : 7月18日(土)

	栃木県庁	0 -	足利銀行
D 2	鈴木秀男 小林裕幸	8 - 7 打切り	阿久津涉 中村紀昭
D 1	金子隆行 法師人行雄	1 - 8	片見友則 狐塚 智
S	阿久津定之	4 - 8	関根庄二

フィードインコンソレーション9~12位決定戦 対 リコー厚木(神奈川2位)  
: 7月19日(日)

	栃木県庁	- 0	リコー厚木
D 2	阿久津定之 法師人行雄	8 - 6	原田泰成 荒井 仁
D 1	鈴木秀男 小林裕幸	8 - 3	角田隆一 川畑憲一
S	金子隆行	打切り	種子田裕介

フィードインコンソレーション9位決定戦 対 日立大みか(茨城2位)  
: 7月19日(日)

	栃木県庁	- 0	日立大みか
D 2	阿久津定之 法師人行雄	8 - 1	猿田隆弘 澤野裕英
D 1	鈴木秀男 小林裕幸	8 - 2	藤木勇志 堀田 卓
S	金子隆行	1 - 5 打切り	小野寺浩明

## 5. 所感

関東実業団対抗テニストーナメントに出場するのは、3年振りの出場になる。今年は本県開催ということで上位進出を狙って参戦した。

初戦の相手は東京2位のリコーで苦戦を予想していた。ダブルス2の鈴木、小林選手は本来の力が出せず、4 - 8で落としたが、ダブルス1の金子・法師人選手は接戦をものにし、1 - 1の五分に戻しシングルス勝負となった。シングルの阿久津選手の相手は、ベースラインプレーヤーで相性が良く8 - 1で快勝し、初戦をものにした。

続く2回戦の相手は千葉2位代表のNTT東日本・千葉で、元インカレ選手が2名いる。内1人は優勝経験のある選手もいる強豪チームでしたが、ダブルス2の鈴木、小林選手は、接戦の末、8 - 6で勝利した。ダブルス1の金子・法師人選手の相手の山下選手はインカレチャンピオンで、さすがに歯が立たず、1 - 8で落としてしまった。シングルス勝負となったが、阿久津選手の相手の斉藤選手も元インカレ選手で前半は相手のミスでゲームを取

れたが、後半は本来の力を出され、6 - 8で振り切られ、残念ながらベスト4には入ることは出来なかった。

フィードインコンソレ2回戦では、本県代表の足利銀行と対戦することになった。

3面展開でコートに入りダブルス1の金子・法師人選手が1 - 8で落とし、シングルス阿久津選手も4 - 8で落とし2敗してしまった。ダブルスの鈴木・小林選手が、8 - 7でリードしていただけに残念でした。これで、9位以下が確定となり、今年是全国大会には手が届かなかった。

大会2日目に入り、9～12位決定戦で少しでも上位を目指すため気合いを入れ直した。次の相手は、神奈川2位代表のリコー厚木との対戦では、ダブルス1の鈴木・小林選手が3 - 8で圧勝し、ダブルス2の阿久津・法師人選手も接戦はしたものの競り勝ち、ダブルスで2勝し、シングルの金子選手は打切りとなり9位決定戦にまわることになった。

本大会最後の試合は茨城2位代表の日立大みかでしたが、ダブルス2本を先にとり、本大会は9位の成績で大会を終えた。

今回の大会は地元開催にもかかわらず選手が5名とぎりぎりだったが、2日間、梅雨は明けたものの曇り空で何とか戦うことができた。来年は控えの選手を揃え、上位進出を狙いたい。また、チームのメンバーも高齢化になり、若手選手の育成も今後の課題になってきている。

今大会も無事終了する事が出来たのも、江連委員長をはじめ、役員の方々のお陰だと心から感謝しております。残念ながら全国大会は逃しましたが、本県からは男子の足利銀行、女子は県庁、本田のチームが全国大会出場を決め、本当に心強く思っております。是非、全国大会でも頑張ってくださいと思います。

以上